

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月13日

島根県知事 丸山 達也 様



提出者 〒691-0003

住 所 島根県出雲市灘分町695番地

氏 名 前川鑄工造機株式会社 平田工場

代表取締役 伊藤 優

電話番号(0853)62-2911

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	前川鑄工造機株式会社 平田工場
事業場の所在地	島根県出雲市灘分町695番地
事業の種類	銑鉄鋳物製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和2年度～令和6年度

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,125t	全処理委託量	5,125t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	3,525t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	1,600t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



不要物等発生量

排出量
① 0.220t

自ら直接再生利用した量
② t

実績値
0.220t

自ら中間処理した量
④ t

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ t

実績値
0.220t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後再生利用した量
⑩ t

実績値
0.220t

自ら中間処理により減量した量
⑦ t

自ら中間処理した後再生利用した量
⑨ t

実績値
0.220t

自ら熱回収を行った量
⑤ t

自ら熱回収を行った後再生利用した量
⑪ t

実績値
0.220t

自ら熱回収を行った後再生利用した量
⑫ t

自ら熱回収を行った後再生利用した量
⑬ t

0t

処理委託量
⑩ t

業者への処理委託量
⑭ t

処理委託量
⑪ t

業者への処理委託量
⑮ t

処理委託量
⑫ t

業者への処理委託量
⑯ t

処理委託量
⑬ t

業者への処理委託量
⑰ t

0t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廉油)



不要物等発生量

①	排出量 1.035t
②	自ら直接再生利用した量
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④	自ら中間処理した量 1.035t
⑤	④のうち熱回収を行った量

項目	実績値	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量
①排出量	1.035t	⑥	⑨	⑫	⑬
②+③自ら再生利用を行った量	t	t	t	t	t
⑤自ら熱回収を行った量	t	t	t	t	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t	t	t	t	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t	t	t	t	t
⑩全処理委託量	1.035t	1.035t	1.035t	1.035t	1.035t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.035t	1.035t	1.035t	1.035t	1.035t
⑮	5,125t	5,125t	5,125t	5,125t	5,125t
⑯熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	t	t	t	t	t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)



不要物等発生量
有償物量

①	排出量 7.378t
②	自ら直接 再生利用した量 t
③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 t

④	自ら中間処理 した量 t
⑤	④のうち熱回収 を行った量 t

⑥	自ら中間処理した 後の残さ量 t
⑦	自ら中間処理によ り減量した量 t
⑧	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 t
⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 t
⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 t
⑪	7.378t
⑫	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 t
⑬	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 t
⑭	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 t
⑮	7.378t
⑯	5.125t t
⑰	⑭のうち熱回収認定業者 への 熱回収を行いう業者 への処理 委託量 t
⑱	0t t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

有償物量

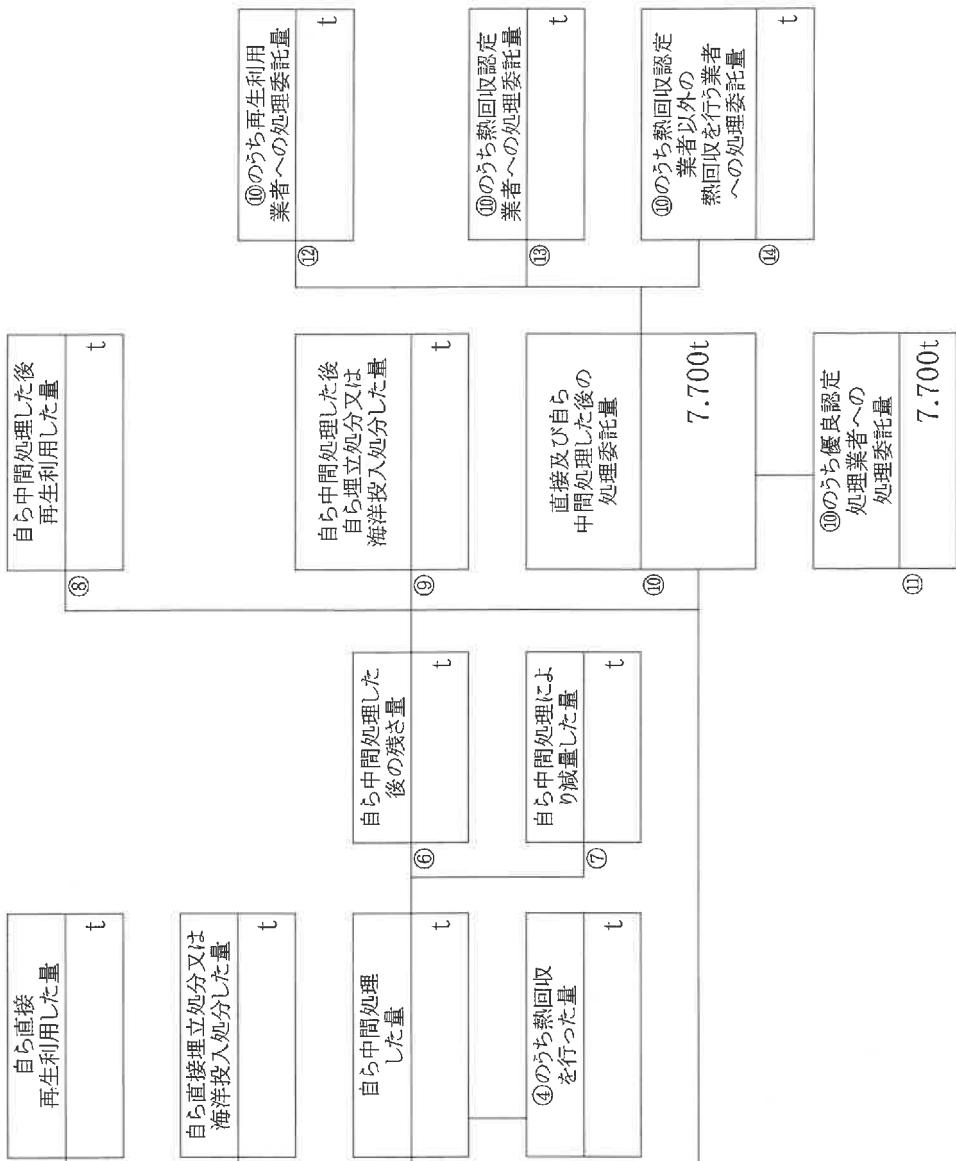
不要物等発生量

①
排出量
7.700t

②
自ら直接
再生利用した量
t

③
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
t

項目	実績値
①排出量	7.700t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	7.700t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.700t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
5,125t	t
⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	t
1,600t	t



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉱さい)



項目	実績値	
①排出量	3,574.79t	
②+⑧自ら再生利用を行った量	t	
③自ら熱回収を行った量	t	
⑦自ら中間処理により減量した量	t	
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t	
⑩全処理委託量	3,574.79t	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,246.33t	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,328.460t	
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
	1,600t	

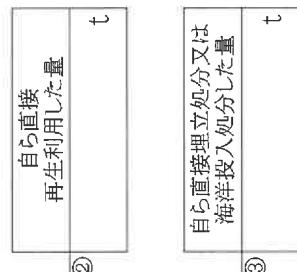


⑩のうち再生利用業者への処理委託量	1,328.460t
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
⑮のうち優良認定処理業者への処理委託量	2,246.33t

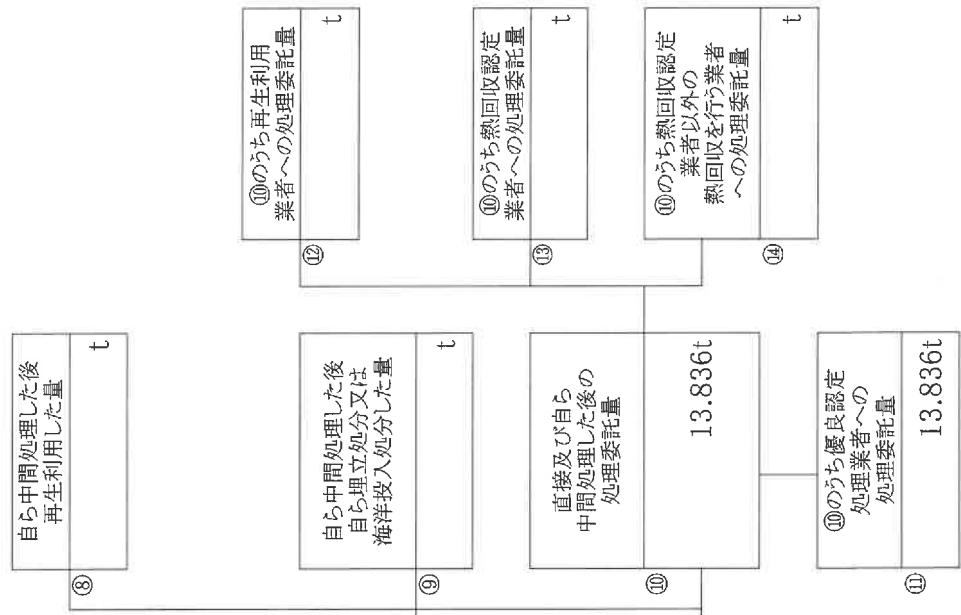
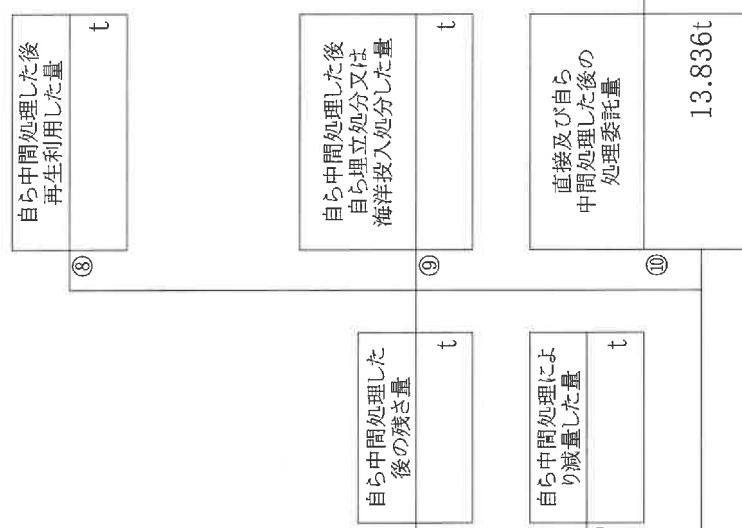
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型混合)



項目	実績値	
①排出量	13.836t	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	13.836t	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.836t	t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
5,125t		t
⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
1,600t		t



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)



項目	実績値
①排出量	0.025t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	0.025t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.025t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
⑯0t	1.60

②自ら直接再生利用した量	t	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	t	⑪のうち再生利用業者への処理委託量	t
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	t	⑫自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	t	⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
④自ら中間処理した量	t	⑥自ら中間処理した後の残さ量	t	⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
⑤④のうち熱回収を行った量	t	⑦自ら中間処理により減量した量	t	⑮のうち優良認定処理業者への処理委託量	t
⑩0.025t		⑩0.025t		⑯0.025t	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合廃棄物)



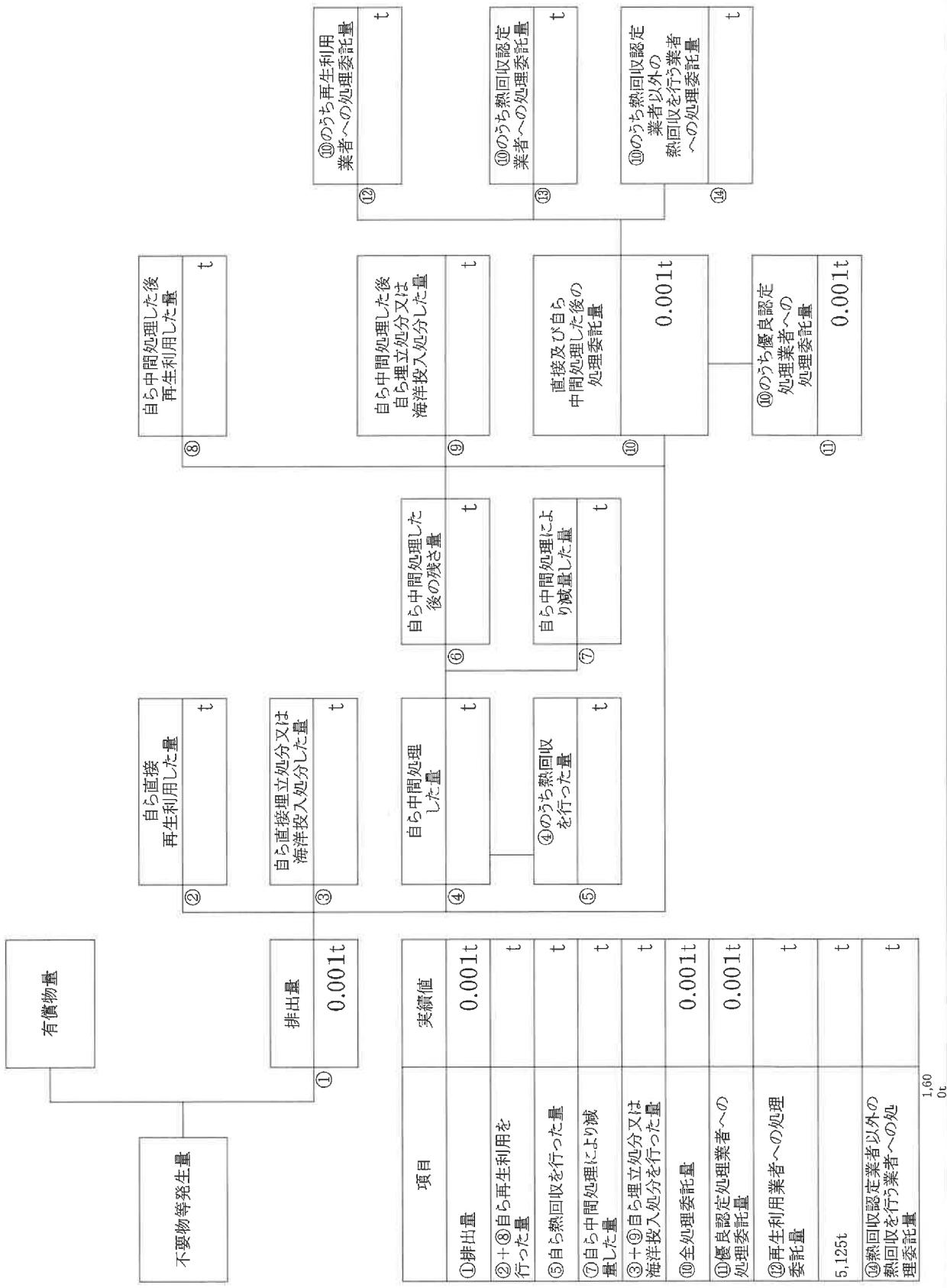
項目	実績値
①排出量	0.009t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
⑨自ら埋立処分を行った量	t
⑩全処理委託量	0.009t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.009t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
5,125t	t
⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
1,600t	t

④	自ら中間処理した量	⑥	自ら中間処理した後の残さ量	⑨	t
⑤	④のうち熱回収を行った量	⑦	自ら中間処理により減量した量	⑩	t
⑧	自ら直接再生利用した量	⑩	直接及び自ら中間処理した後の残さ量	⑪	t
⑩	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	⑫のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑭	t
⑪	⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮	⑮のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑯	t
⑯	0.009t	⑯	0.009t	⑯	t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) 5,125t 5,125t
第15条の3の3第3,525t
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。